

※本プレスリリースはジャガー・ランドローバー社が 2012 年 5 月 20 日に発表したプレスリリースの日本語訳です。

2012 年 5 月 23 日  
(日本語訳発行日)  
J12U007

## ジャガー・ヘリテージ・レーシングが 2012 年のミッレミアを完走



### 2012年5月20日 プレシア発

6 台で挑んだジャガー・ヘリテージ・レーシングチームが日曜日の早朝にプレシアに戻り 2012 年のミッレミアを完走しました。3 台の「C-type」、2 台の XK120、そして Mk VII サルーンからなるチームが過酷なプレシア-ローマ間を往復するルートをサポートで完走したのみならず、計 32 台ものジャガー車がエントリーするという新記録を樹立しました。

ほぼ 48 時間前、サー・スターリング・モスとノーマン・デュイスが 1952 年にディスクブレーキを装備した「C-type」で出場した時と同様にスタートを切り、レースはジャガーにとって記念すべき形で始まりました。彼らが 60 年前にミッレミアで行ったこの挑戦によって、ジャガーはディスクブレーキを市販車に広範に採用するための技術開発を大きく前進させることが出来ました。

モスとデュイスは、かつてのミッレミアアに出場したドライバー/ペアドライバーのペアとしては現在最高齢です。彼らが 60 年前になしえた英雄的な活躍を心から称賛したブレシアの群衆は、モスが 1952 年にランスでディスクブレーキという新機軸で世界初の勝利を収めた「C-type」(シャシーナンバーXKC 005)でのパレードラップを見ることができました。

ジャガー・ランドローバーのグローバル PR 責任者であるフランク・クラスは次のように述べています。「ミッレミアアはいつの日にも非常に特別なイベントであり、ジャガーが再びスポンサーできることを誇りに思っています。今年のミッレミアアは私たちにとって特別に重要度が高いと考えています。革新的技術を開発し続けているジャガーブランドの歴史において、サー・スターリング・モスとノーマン・デュイスがディスクブレーキの世界初の耐久実戦テストに挑んでちょうど 60 年という節目の年だからです。

そのテストはディスクブレーキの開発にとって決定的な役割を果たし、世界中の路上で数え切れないほどの生命を救うことができたのです。1952 年にサー・スターリング・モスとノーマン・デュイスが示した勇気、そして 2012 年もいきいきと活躍している二人の姿は、今年のミッレミアアに参戦するジャガー・ヘリテージ・レーシングチームを後押ししてくれました。」

2012 年のミッレミアアはジャガー・ヘリテージ・レーシングがチームとして参戦するレースプログラムの第 1 弾となります。なお今年後半は 1956 年以降初めてワークスのバックアップを得た「C-type」と「D-type」がニュルブルクリンク AVD オールドタイマー・グランプリと、グッドウッド・リバイバルでレースに参戦する予定です。

#### 2012 年ミッレミアア - ジャガー・ヘリテージ・レーシング・エントリーリスト

- 「C-type」(シャシーナンバー: XKC 005、登録番号: MDU 212)
- 「C-type」(シャシーナンバー: XKC 018、登録番号: 70 XVK)
- 「C-type」(シャシーナンバー: XKC 045、登録番号: NDU 289)
- 「Mk VII」(登録番号: LHP 5)
- 「XK120」ロードスター(登録番号: OOF 748)
- 「XK120」フィックスド・ヘッド・クーペ(登録番号: LWK 707)

以上

本件に関する読者からの問い合わせ先は  
ジャガーコール 0120-050-689  
(土・日・祝日を除く 9:00~18:00)をご掲載ください

本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先は、  
03-5470-4242 (ジャガー・ランドローバー・ジャパン広報グループ代表)です。  
ジャガーオフィシャル WEB サイトの URL は、[www.jaguar.com/jp](http://www.jaguar.com/jp) です。

広報写真はジャガー・ランドローバー・ジャパン プレスサイトをご利用ください  
<https://pr.jlr.jp/>